



# 会派15人でスタート オール信州でみらいに新風を!



- 吉川彰一 (財務委員長)
  - 花岡賢一 (副広報企画委員長)
  - 石和 大 (幹事長)
  - 今井愛郎 (副広報企画委員長)
  - 小島康晴 (副代表)
  - 堀場秀孝 (副政務調査会長)
  - 高橋 宏 (顧問)
  - 小林東一郎 (政務調査会長)
  - 下沢順一郎 (代表)
  - 荒井武志 (広報企画委員長)
  - 竹内久幸 (相談役)
  - 埋橋茂人 (副政策審議会長)
  - 山岸喜昭 (副代表)
  - 寺沢功希 (副政務調査会長)
  - 依田明善 (幹事長代理・政策審議会長)
- ( )内は会派役職


### 5月臨時会

改選後初めての議会である5月臨時会が5月11日から14日まで開かれ、議長・副議長の選挙、議会運営委員会及び各常任委員会の委員・正副委員長の選任が行われました。小島康晴副代表は、選挙戦の結果副議長に当選しました。

高橋宏顧問は、地方自治法の規定により年長議員として臨時議長に就任しその任を果たしました。

常任委員会 (○委員長 ○副委員長)			
総務企画警察	竹内久幸	下沢順一郎	○小林東一郎
県民文化健康福祉	石和 大	花岡賢一	
環境産業観光	堀場秀孝	埋橋茂人	
農政林務	高橋 宏	○荒井武志	
危機管理建設	○山岸喜昭	依田明善	寺沢功希
文教企業	吉川彰一	○今井愛郎	
議会運営	高橋 宏	石和 大	○埋橋茂人
決算特別	下沢順一郎	○依田明善	寺沢功希

## 小島副代表 副議長に就任



5月臨時会で、我が会派の小島副代表が副議長選挙に立候補し、一騎打ちの選挙戦でしたが圧倒的な支持を得て第93代副議長に就任しました。立候補者の所信表明会

で小島副代表は、「議長をしっかりと補佐し、県議会への県民の信頼を高めるとともに、議会の広報委員長として積極的な広報広聴活動を展開していく。定数や選挙区の見直しなど議会改革は待ったなしだ。」と、力強く決意表明しました。

## 6月定例会 新人議員4名が はつらつと一般質問

6月定例会県議会は、6月25日に開会し7月10日までの16日間の会期で開催されました。

一般質問には31名が立ち、当会派では新人4名を含む10名が県政課題について論戦を挑みました。新人4名は一般質問2

多様な県民意見を県政に反映させるため、「県政改革の理念を共有し、

私たちは、県民の皆様を取り巻く諸課題について県民目線で提言を行い、チェック機能を果たすとともに、産業振興や雇用、福祉・医療・教育など生活者視点の県政実現に着手に取り組んでまいります。

県民の皆様には、ご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

## 県政対話集会在松本養護学校

6月18日に「中信地区特別支援学校再編整備計画(案)」が公表されたことから、7月13日松本養護学校で会派による県政対話集會を開催しました。

集會には在学児童・生徒の保護者や関係者など30名余りに参加いただき中で、延べ17名の皆様から貴重なご質問やご意見をいただきました。

「生の声を聞きに来てくれてありがたい」と感謝の声をいただき一方、「これからも実際に足を運んで、ともに当事者意識を共有して欲しい」「就労移行もしっかり対応して欲しい」など切実な要請・要望をいただきました。このような現場での対話による意識共有が今後の一体感につながっていくという学びの場となりました。

一方、築40年余を経過する木造校舎は、寄宿舎を含め老朽化が激しいこと、グラウンドにプレハブ校舎を増築しているなど教育環境の改善を痛感しました。

### 議会改革 西沢議長に 申し入れ

5月臨時会で就任した西沢正隆議長に対し我が会派は、議会改革を中心とする「当面する議会運営に関する提言の申し入れ」を早速5月13日に行いました。

主に、議員定数や選挙区の見直しを進めるための「検討会」を早期に設置すること、正副議長任期を2年にすること、「議会改革調査会」を設置することなどを申し入れました。

# 小島康晴の 県政レポート VOL 33

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 信州新風みらい

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP:http://shinshinmirai.com  
E-mail:info@shinshinmirai.com



議長席で知事答弁を聞く

副議長も本会議の議事進行を一部担うため一般質問は行いません。また、慣例により正副議長は常任委員会に所属しません。このような条件下ですが、引き続き「県民の生活が第一」に政務活動に取り組んで参ります。お気軽にご意見・ご要望等お寄せくださるようお願いいたします。



立候補の届け出

本会議が再開され、まず西沢議員が議長に無投票で選出されました。副議長は他に立候補者がありません。選挙となりました。



所信を表明

## 副議長決定は選挙に

正副議長の選挙は、各党派から選出された「世話人会」により進められます。会派の仲間の満場一致で決まりました。

## 会派の副代表に

4月の選挙の結果(2人が勇退、3人が惜敗)を踏まえ、新たに会派「信州・新風・みらい」を15人で結成し、副代表に就任しました。

県政報告第33号をお届けします。4月の選挙を経て5月臨時会が開催され、副議長に選任されました。6月定例会では初めて議事を進めました。副議長の公務の様子なども順次お知らせいたします。

## 5月臨時会で第93代副議長に就任 6月定例会で初めて議事を進行

のご支持をいただき、副議長に立候補しました。立候補の締め切り後、全議員の前で正副議長候補が所信表明を行います。私の思いは別記のとおりです。



自らに投票

議員が候補者名を記入して投票します。開票の結果、56名の同僚議員の支持をいただき、副議長に当選しました。



就任のあいさつ

就任後は早速各派交渉会に出席したり、報道機関への記者会見を行いました。



副議長応接室で

副議長は県議会の広報委員長を務めます。委員は4つの交渉会派から1名ずつ選出されます。これまで3回の委員会を開催し、今年度の広報の計画など策定しました。定例会ごとの新聞広報、議長によるラジオ広報、ケーブルテレビ番組、中学生との「こんに



追手町小の皆さんに議場説明

ちは県議会です」、夏休み議場開放など実施します。広報の一環として、県庁見学に来られた小学生の皆さんに、正副議長や広報委員が議場説明を行っています。すでに24校、のべ36回、1451人の皆さんに実施しました。

信州・新風・みらいの小島康晴でございます。この度、副議長に立候補いたしましたので、その抱負、決意などの所信を申し上げます。まず、初めての方もおられますので、改めて簡単に自己紹介申し上げます。昭和31年1956年2月生まれ59歳です。生まれも育ちも飯田市で大学時代以外はずっと飯田に住んでおります。

今からちょうど50年前、昭和40年私が小学校4年生9歳の時、父を事故で失いました。その後母は母子家庭で3人の子どもを育てました。その母も病を得て寝たきりになり、20年あまり在宅で介護しました。これらを経験から、失われた命や健康は取り返せないとい

いうこと、そして今日まで多くの方にお世話になってこまごまこれたことへの感謝の気持ちを忘れない、この2つが県政の場面でも大切に参りたい。私の信念あるいは信条です。さて、副議長職について2点申し上げたいと思います。まず、私は副議長の務めはなんと申しても議長を補佐することと考

## 副議長 所信表明

えます。これまでいろいろな組織や団体で「副」を務めてきました。もちろんトップが一番大変ですが、これを補佐する「副」もなかなか難しいと感じてきました。後ほど少し触れます諸課題に臨むにあたって、このことにしっかりと留意し、各会派や議員各位のご協力を得ながら、円滑な議会運営に努め、自由闊達な議論や真摯な意見交換がなされ、議長を先頭に

県議会への県民の皆様への信頼が高まるよう全力を尽くしたいと思っております。2つめに、副議長は議会広報の責任者を務めることになっております。この度の県議選挙の投票率は飯田市区でも、かつて50%を超えたという状況でした。ずっと「県政を身近に」と掲げてきたものとして、誠に残念に思っています。県

## 広報委員会の活動から